

高齢者インフルエンザ

接種期間 **10月1日(水)～1月31日(土)**

予防接種助成のお知らせ

インフルエンザ予防接種は、個人の発症または重症化予防を目的として、本人の意思に基づき接種するものです。接種は強制ではありませんので、予防接種の効果や副反応をよく理解したうえでご検討ください。

【対象者】接種日においておいらせ町に住所を有し、次のいずれかに該当する方

- ①65歳以上の方(接種日に65歳以上であること)
- ②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓又は呼吸器の機能に障害がある方及びヒト免疫不全ウイルスによる障害がある方で、身体障害者手帳1級に相当する方

【接種料金】**1,000円**(1年度に1回まで) ※指定医療機関以外で接種した場合は異なります

○生活保護世帯の方は「医療受給証」を当日持参すると無料で受けられます。

○住民税非課税世帯の方は「無料接種対象者証明書」を当日持参すると無料で受けられます。接種前に次の発行場所に必要書類を持参し手続きを行ってください。

- 発行受付:健康保険課(本庁舎)、町民課分室(分庁舎)、北部出張所
- 必要書類:身分証(免許証やマイナンバーカードなど)

【接種方法】①予診票を準備する 配布場所:健康保険課(本庁舎)、町民課分室(分庁舎)、北部出張所

②医療機関へ予約する

③接種を受ける 持ち物:予診票、身分証 ※「対象者②」の方は障害者手帳をご提示ください。

◆指定医療機関一覧 ※接種終了時期が早まることがあります。必ず医療機関に確認をしてください。

医療機関名(TEL)	助成対象実施期間	接種曜日及び受付時間	予約受付時間等
青い森こども アレルギークリニック (0176-58-7400)	令和7年10月1日 ～ 令和8年1月31日	月～土 10:00～診療時間内	要予約 (ネット予約をお勧めします)
こんの医院 (0178-56-8066)		診療時間内	要予約(3日前まで)
下田診療所 (0178-56-3116)		月～金 9:00～11:00、14:00～16:00	予約不要 (午後は往診等で不在の場合あり)
こおり耳鼻科クリニック (0176-53-3387)		月～金 8:30～17:00	要予約
おいらせ病院 (0178-52-3111)	令和7年10月20日 ～ 令和8年1月31日	月・金 14:00～14:30	要予約(かかりつけの方で診察時に接種する場合は予約不要) 予約開始 10/10～(平日) 受付時間 8:15～17:00
石田温泉病院 (0178-52-3611)	令和7年11月1日 ～ 令和8年1月31日	月・火・金・土 9:00～16:30	要予約(電話・窓口)
八戸市医師会 所属医療機関	役場健康保険課(本庁舎)・町民課分室(分庁舎)・北部出張所に 設置のチラシまたは町ホームページをご覧ください。		町ホームページ▶ 

◆指定医療機関以外のかかりつけ医で接種する場合

➢医療機関に接種費用を全額自己負担し、その後役場健康保険課(本庁舎)で助成金の申請をしてください。

必要書類:振込先の通帳、領収書等、接種したことがわかる書類(接種済証等)

➢助成は上限3,500円を1年度につき1回まで(生活保護世帯、住民税非課税世帯の方は上限4,500円)

➢申請期限:令和8年2月27日(金)まで(厳守)

問合せ先 : おいらせ町役場 健康保険課 ☎0178-56-4551 (8:30～17:00)

インフルエンザ予防接種について(説明書)

1. インフルエンザとは

インフルエンザは「インフルエンザウイルス」に感染して起きます。感染経路は、感染した人の咳やくしゃみのしぶき(飛沫)に含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛沫感染」と、ウイルスが付着した手で口や鼻に触ることによる「接触感染」があります。通常、初冬から春先にかけて流行します。

典型的なインフルエンザの症状は、突然の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などで、のどの痛み、咳、鼻水などもみられます。普通の風邪に比べて全身症状が強いのが特徴です。肺炎などを合併し、重症化することもあります。

2. インフルエンザ予防接種の有効性

予防接種を受けてからインフルエンザに対する免疫がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5か月とされています。より効率的に有効性を高めるためには、毎年インフルエンザが流行する前の12月中旬までに接種を受けておくことが必要です。

また、インフルエンザウイルスは毎年変化しながら流行するため、毎年流行が予測されるウイルスにあった予防接種を受けておくことが効果的です。一般的には、65歳以上の方は1シーズン1回の予防接種で効果があります。

3. インフルエンザ予防接種の副反応

予防接種の注射の跡が赤みを帯びたり、腫れたり、痛んだりすることがありますが、通常2~3日のうちに治ります。また、接種後数日から2週間以内に発熱、頭痛、けいれん、運動障がい、意識障がいの症状が現れる等の報告があります。非常にまれですが、ショックやじんましん、呼吸困難などがあらわれることがあります。

4. 予防接種を受ける前に

(1) 予防接種を受けることができない方

- ①明らかに発熱のある方(一般的に体温が37.5℃以上の場合)
- ②重篤な急性疾患に罹っていることが明らかな方
- ③インフルエンザ予防接種に含まれる成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- ④インフルエンザ予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び、全身性発しん等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ⑤その他、医師が不適當な状態と判断した場合

(2) 予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない方

- ①心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、呼吸器系疾患(間質性肺炎、気管支喘息)等の基礎疾患がある方
- ②今までにけいれんを起こしたことがある方
- ③過去に免疫不全の診断がされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ④インフルエンザ予防接種の成分又は鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アレルギーがあると言われたことがある方

(3) 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①予防接種を受けた後30分間は、急な副反応が起こることがあります。また、インフルエンザワクチンの副反応は24時間以内に多く出現するため、この間は体調に注意しましょう。
- ②入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすることはやめましょう。
- ③接種当日は接種部位を清潔に保ち、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。